

平成27年度行政事業レビューシート(警察庁)

事業名	交通安全施設等整備事業効果測定			担当部局	交通局	作成責任者		
事業開始年度	平成15年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	交通規制課	交通規制課長 櫻澤 健一		
会計区分	一般会計			政策・施策名	4-3 道路交通環境の整備			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	社会资本整備重点計画法 (第7条 社会資本整備事業に係る政策の評価)			関係する計画、 通知等	社会资本整備重点計画 【計画期間】平成24年度から平成28年度(第3次)			
主要政策・施策	交通安全対策			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	重点的、効果的かつ効率的な交通安全施設等の整備を推進するため、新たに設置した交通安全施設等の設置効果を測定し、とりまとめる。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	平成25年度に国の補助金を得て設置した交通安全施設等について、迅速かつ効率的に当該目標を達成するために各都道府県が実施した交通安全施設等整備事業の事業項目ごとのデータを収集した上、その効果に関して分析を行い、交通安全施設等整備事業のあり方を検証する。							
実施方法	委託・請負							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
	当初予算	1.4	1.2	1	0.9	0.9		
	補正予算	0	0	0				
	前年度から繰越し	0	0	0	0			
	翌年度へ繰越し	0	0	0				
	予備費等	0	0	0				
	計	1.4	1.2	1	0.9	0.9		
	執行額	1	0.8	0.9				
執行率(%)	71%	67%	90%					
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度	
	交通安全施設等設置効果 のとりまとめ	設置効果とりまとめ件数	成果実績	件	1	1	1	
			目標値	件	1	1	1	-
			達成度	%	100%	100%	100%	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載						<input type="checkbox"/> チェック		
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	分析した事業項目件数		活動実績	項目	30	30	30	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	執行額/事業数		単位当たり コスト	百万円	1	0.8	0.9	1
			計算式	執行額 /事業数	1.0/1	0.8/1	0.9/1	0.9/0.9
			費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由		
平成 27 - 28 年度 予 算 内 訳 (単 位 : 百 万 円)	人件費等	0.9	0.9					
	計	0.9	0.9					

事業所管部局による点検・改善											
	項目		評価	評価に関する説明							
国費 要投入 の必 要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		<input type="radio"/>	交通安全施設等整備事業の効果等を評価・分析して、事業のあり方に反映させるために必要な事業である。							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		<input type="radio"/>	社会資本整備重点計画の推進を図るものであるため、国で行うべき事業である。							
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		<input type="radio"/>	交通安全施設等整備事業の効果等を評価・分析して、事業のあり方に反映させるために必要な事業である。							
事業 の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		<input type="radio"/>	一般競争入札から随意契約への変更後も、複数事業者から見積を取得することで、競争性を確保している。							
	受益者との負担関係は妥当であるか。		<input type="radio"/>	受益者は国民全体であるため妥当である。							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		<input type="radio"/>	一般競争入札から随意契約への変更後も、複数事業者から見積を取得することで、競争性を確保している。							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-								
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		<input type="radio"/>	整備実績のある事業について、効果測定を実施している。							
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-								
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		<input type="radio"/>	一般競争入札から随意契約への変更後も、複数事業者から見積を取得することで、競争性を確保している。							
事業 の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		<input type="radio"/>	必要な成果物を得ており、交通安全施設等整備事業の効果等を評価・分析して、事業のあり方に反映させている。							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果のあるいは低コストで実施できているか。		-								
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		<input type="radio"/>	必要な成果物を得ており、交通安全施設等整備事業の効果等を評価・分析して、事業のあり方に反映させている。							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		<input type="radio"/>	必要な成果物を得ており、交通安全施設等整備事業の効果等を評価・分析して、事業のあり方に反映させている。							
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-								
	所管府省・部局名	事業番号	事業名								
点検 ・改善 結果	点検結果	本事業については、警察庁が直接契約していることから、支出先・使途を把握している。									
	改善の 方向性	本事業は、道路交通環境の整備を進める上で必要な調査研究であることから引き続き実施する必要がある。 近年の契約実績を勘案して、平成26年度以降については、複数の事業者から事業に係る費用に関する見積を取得した上で、随意契約へと変更したところであるが、今後も、適正な契約に努めるため、適宜、予算の積算の見直しを図っていく。									
外部有識者の所見											
点検対象外											
行政事業レビュー推進チームの所見											
現状 通り	引き続き、適正かつ効率的な事業実施に努めること。										
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況											
現状 通り	特になし										
備考											
特になし											
関連する過去のレビューシートの事業番号											

平成22年度	-	平成23年度	24	平成24年度	14	
平成25年度	50	平成26年度	48			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

警察庁
0.9百万円

〔 平成25年度事業の効果測定を委託 〕



【随意契約】

A. (株)都市交流プランニング
0.9百万円

〔 受託した効果測定を実施 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

計		0	計			0
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					<input type="checkbox"/>	チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)都市交流プランニング	平成26年度効果測定	0.9	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

交通安全施設等整備事業の効果測定

社会資本整備重点計画

「活力」、「安全」、「暮らし・環境」、「ストック型社会への対応」といった観点から社会資本整備を行い、目標達成に向け効率的な事業執行を推進

政府目標

- 平成27年までに交通事故死者数を3,000人以下
- 社会資本整備重点計画において定められている、道路交通環境を整備することにより以下の目標の達成を目指している。

交通死傷事故の抑止

道路交通の円滑化

CO₂排出量の抑止



交通安全施設等整備事業を推進

信号機改良(多現示化)



信号灯器のLED化



道路標識の高輝度化・大型化



交通安全施設等整備事業の効果測定に関する調査研究

信号機の新設



交通人身事故
81%減

歩車分離式信号機



交通人身事故 **37%減**

信号機の系統化



旅行時間 **13%減**

整備効果等を分析し、評価した結果を翌年度以降の事業に反映
(アウトカム目標による評価)